

青 空 通 信

NPO 法人 ウェルコミュニティ飛騨

空町作業所: 高山市西洞町 3 番地 0577-35-1559

青葉の家: 高山市森下町 2 丁目 58 番地 4 0577-32-8064

平成 21 年 4 月 2 日 発行 第 5 号

理事長挨拶

理事長 柏木真司 年のスタートは、1月1日なのか、それとも4月1日なのか？様々な説があるようですが、いずれにせよ、1月1日にスタートがきれなかった人にとってはこの時期、再度気持ちを切り替えスタートする絶好の機会であると思います。

かという私もこの3月までの間、忙しく時間が過ぎただけの日々であったことを反省し、新たな気持ちで新年度をスタートしたいと考えています。

先日、障害者自立支援法の改正にともなう岐阜県主催の集団指導会が開催されました。いくつかの内容が改正され、完全ではないものの少しずつ利用しやすい法律に変わってきていると思います。これも当事者、家族、関係団体がその問題点を訴え、改正を要求してきた結果であり、諦めや人任せではなく、自らが労を惜みず動くことの大切さを改めて感じました。

法人として新年度何を目標に取り組んでいくかに関しては、総会において運営委員の意見を聞きながら決定していきたいと思います。私としては就労促進の為、訓練カリキュラムや支援体制を見直し強化していきたいと考えます。また、施設外訓練を導入し、実践力の向上を図るとともに工賃のアップも目指していきたいと思います。

目標を明確にすることで結束力は高まります。スタッフ一人ひとりが自らの責務を自覚し、目標達成に向け成果を上げられるよう努力して参ります。今後ともご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

新しい職員の紹介



井端隆博(いばたたかひろ) 四月から職員として働かせていただく事になりました。前の仕事とはまったく違う毎日に戸惑うことが多いです。早くいろいろな経験(知識)を得て、みなさんの力になれる様に頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

「あなたの能力は、今日のあなたの行動によって、開花されるのを待っています」



宮内育子(みやうちいくこ) 四月から職員として働かせていただく事になりました。生まれは横浜、育ちは海老名、少し前まで東京都の国分寺市にある精神障害者の作業所で生活相談員をしていました。高山に来てからやっと5ヶ月が経ちます。仕事以外でも皆さんに教えて頂きたい事が沢山！！若輩者ゆえにご迷惑お掛けすると思いますがこれから宜しくお願いします。



二十四日市に出店



冬の高山の恒例行事である二十四日市にウェルコミュニティ飛騨として出店しました。今回もかにかこ館様、伊藤薬局様のご厚意により参加することが出来ました。

例年なぜか二十四日市は天候が荒れるのですが、今回も積雪にはならなかったものの、時折吹雪に見舞われ、大変寒いなかでの販売となりました。この寒さの影響もあり、特に売れたのは靴下の輪っかを使用したクッションや毛糸の帽子でした。

商売というものは、「売りたいものを売る」のではなく、季節やお客様のニーズをとらえ、「売れるものを売る」ことの大切さを痛感しました。私たちも流行や季節に応じた作品作りに努めていきたいと思います。
(あおぞらニュースより転載 2009年1月28日 柏木)

カラオケ

2月6日は午後からレクリエーションとしてカラオケへ出かけ、参加者多数で大いに盛り上がりました。年齢層に幅があり、みんなで色々な唄を楽しめたようです。

唄い足りなかった人もいたかもしれませんが、お互いに譲り合い、思いに思いに楽しめたことでしょう。毎日の作業の合間に、こうしたレクリエーションでメンバー同士が交流し、親睦を深め、リフレッシュできることが何よりだと感じました。

(あおぞらニュースより転載 2009年2月7日 野中)

ふれあい餅つき

2月19日は待ちに待った「ふれあい餅つき」に参加させていただきました。歳末たすけあい配分事業として、高山市社会福祉協議会様・岐阜県共同募金会高山市支会様の主催により、民生委員さんや商工会関係の方々ほか多数のボランティアさんによって開催されました。

少し寒い風が吹いていましたが、たくさんの皆さんが賑やかに集まり、手作りの雑煮やきなこ餅をいただき、心も身体もたいへん温まりました。

餅つきに出かける前に、実は請負の作業(ハウレンソウの袋詰め)をたくさんご発注いただき、時間に間に合わないかもしれないと大いに心配したのですが、メンバー一人一人が今までにないほど最大の集中力を発揮し、とうとう時間前にやり遂げてしまいました。職員として、非常に驚くと同時に、メンバーに対して



とても頼もしく感じたものです。

作業のほうもしっかり取り組み、地域の皆様と交流し、おいしい餅をいっぱいいただき、たいへん充実した一日となりました。本当にありがとうございました。

(あおぞらニュースより転載 2009年2月19日 野中)

24時間テレビ 福祉車両贈呈式



2月12日、24時間テレビ福祉車両の贈呈式が中京テレビ本社にて執り行われました。24時間テレビは、毎年8月の下旬に放送されるチャリティ番組で30年以上の歴史があります。昨年の募金による福祉車両の公募に申し込んだところ、私たちの法人が選ばれました。愛知、岐阜、三重で合わせて25団体、1個人が選ばれたとのことでした。

今回、いただく車両は日産キャラバンのリフト付き10人乗りバスです。最近、送迎サービスを利用されるメンバーが増えており、配車に苦慮していましたが、この車が来ることでこの悩みも解消されると思います。

この車は多くの方々の善意によって購入されるものであり、使用するのは私たちであっても所有者は募金して下さった多くの方々であることを忘れずに大切に使用したいと思います。(あおぞらニュースより転載 2009年2月14日)

手作り家具

こんにちは、今日は青葉の家で作った木製の棚を紹介します。

自分は、飛騨に住んでいながら木工のことも家具のこともよくわかりませんがこの棚はあったかい感じがして好きです。

こういった木製の棚や椅子などの注文も受けるので、ウェルコミュニティ飛騨にご相談ください。

(あおぞらニュースより転載 2009年2月20日 利用者T)



3月

調理実習



市内の施設の調理室をお借りして、調理実習をおこないました。

作った料理は、八宝菜と餃子、まぜご飯、フルーツのヨーグルト和え、じゃがいものえごま和えです。

自分が一番の難関だと思っていた、餃子の皮を包む作業ですが、みんな器用にこなして自分のでる幕がないくらいでした。

作った料理はどれもおいしくでき、楽しんで調理や後片付けができたので、よかったです。

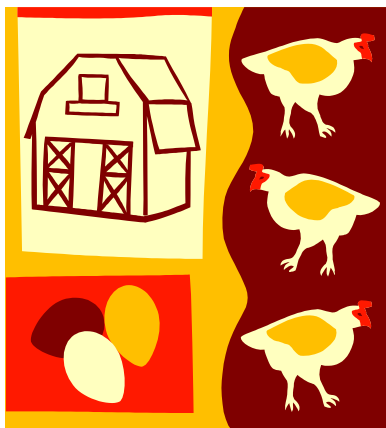
(あおぞらニュースより転載 2009年3月9日 利用者T)



園芸福祉サポーター方の集まりで活動報告をさせていただきました

3月2日の岐阜県園芸福祉推進大会、3月10日の岐阜県園芸福祉サポーター認定式にて、私たちの農作業の取組みを報告させていただきました。

実は、我が岐阜県は園芸福祉の分野における先進県であり、初級園芸福祉士の認定者数は全国で1位とのことです。園芸福祉サポーターとは、医療や福祉の現場において園芸福祉活動を推進するためのボランティアさんであり、園芸福祉が盛んな岐阜県独自の取組みです。約20時間の養成講座を受講された方がサポーターとして認定されます。



私たちの農作業はサポーターさんのお力によって成り立っています。畑の仕事を教えていただき、作業の中ではたくさんのコミュニケーションもあり、メンバーもサポーターさん方とのふれあいを本当に楽しみにしております。おかげさまで私たちは野菜づくりを通じて多くの体験ができました。初めての種まき、苗の植えかえ、大変な草取り、収穫の手ごたえ、ムジナやカラスにスイカを食い荒らされた悔しさ。色々な失敗を経験しながらも、とれたて野菜をお客様に買っていただく時の喜びはひとしおです。そして、大きな感謝。言葉では尽くせないほどのたくさんの学びがありました。本当にありがとうございます。

このたび飛騨地区ではたくさんのサポーターさんが新たに認定されました。とても心強く感じますし、たいへんありがたいと思います。これからもどうかよろしくお願い致します。と同時に、サポーターさん方との交流を機に、よりいっそう地域とのつながりが深まることを強く願っております。(あおぞらニュースより転載 2009年3月10日)



作業の紹介

新しい仕事 1 洗車

もうすぐ春ですね。おいしい山菜やきれいな草花が顔をのぞかせる季節が来ようとしています(飛騨地方はみぞれ雪で道路はぐちゃぐちゃですが)。自分も春が好きですが、この時期になると自慢の愛車の汚れがやけに目立って困りますよね？

そこで、青葉の家が洗車を請け負います。手洗いで丁寧に磨かせていただきます。

価格表

軽・普通車	1,500円
大型車・ワンボックスカー	2,000円
車内清掃	500円

高山市内にお住まいの方は是非ご利用ください。



新しい仕事 2 ペーパーログ(紙薪)

新聞紙を再利用して紙薪を作る作業に挑戦しています。新聞紙を細かく裂き水で湿した後、専用のメーカーに入れて型押しし、圧縮して水を出し切り、十分に乾かすと出来上がりです。圧縮の度合いで木の薪と同じように使うことができます。木の薪2に対して1の割合で使用するのが基本。寒いこの地方では、薪ストーブをご利用のご家庭も多いはず。木の薪の使用量が減ると、お財布にもありがたいですね。





新しい仕事3 箸入れ

岐阜市にある社会福祉法人、清穂会さんで作っている名入れ箸を、空町作業所製作の箸袋に入れて製品化しました。味気ない割り箸よりマイ箸。しかもそれに自由に文字が入られるということで、ちょっとした記念品にもなります。肩ひじの張らない贈り物としても喜ばれそうです。

箸については、木材もイチイやケヤキ、白檀などから選べるそうです。詳しくは社会福祉法人清穂会ホームページへ。
<http://www.seisukai.or.jp/31innkann.htm>



新しい作業4 木工

注文による製品づくりに取り組んでいます。すでいくつかお買い上げいただいています。今までに作った製品は、踏み台、棚、本棚、ベンチ、机。作業に従事できる人員と時間の調節が難しいため、納期に余裕をいただいたり、作りが単純なものに限らせていただいたり等々ございますが、ご希望がお有りでしたらぜひご相談ください。



挨拶

田口直樹は、3月末日をもちまして、NPO法人ウェルコミュニティ飛騨を進学のため卒業します。4月からは、愛知県豊川市の愛知障害者職業能力開発校で頑張ります。いままでありがとうございました。



編集後記

今回の号のレイアウト及び大半の記事は青葉の家を卒業する田口君が手掛けました。時期的に間に合わなかった記事は職員が付け足しました。また、これまでアルバイトとして働いていただいていたスタッフの宮田さんも、3月末で退職。さみしい限りですが、2人の門出を心からお祝いしております。

別れがあれば出会いあり。4月から2名のスタッフが正式にウェルコミュニティの職員となりました。ありがたいことに徐々に大所帯となっています。まだまだ未熟な私たちですが、これからもご支援をよろしく願いいたします。

明るい話題をもうひとつ。法人のスタッフの一人がこの春結婚します。暗いニュースが多い中、身近では春らしい出来事が続きうれしい限りです。